

平成27年度 学 校 評 価

市立函館高等学校

4 : 十分達成している (適切である) 3 : 概ね達成している (概ね適切である)
 2 : 不十分である (やや適切ではない) 1 : 改善を要する (適切ではない)

自己評価 : 調査教員数66名 回答66名(100%)

学校関係者評価 : 保護者数 82名 回答70名(85.0%)

学校評議員数 5名 回答5名(100%)

分野 領域	評 価 項 目	自己評価 (教員)	改善の方策	学校関係者評価	
				保護者	学校評議員
学校 経営	生徒の実態や保護者、地域社会の願いを踏まえた教育目標になっている。	3.26	・マネジメントサイクルの一層の充実による改善を図る。 ・サービスに関する研修を推進する。	3.32	3.75
	教職員の服務規程が適切に保たれている。	3.14		3.33	3.50
学校関係者の意見等		・保護者評価とほぼ同じで適切である。			
教育 課程 ・ 学 習 指 導	単位制の趣旨を生かし、進路実現に結びつく教育課程が編成・実施されている。	2.53	・生徒による授業評価の充実及び結果分析から授業改善を図る。 ・入試問題研究等を通し、組織的な教科指導力の向上を図る。	3.19	3.25
	わかりやすい授業を行い、自ら学ぶ意欲を高めるなど教科指導の工夫に努めている。	3.03		3.10	3.25
	「函館学」を通して、生徒に郷土を愛する気持ちを養っている。	3.08		3.15	3.25
学校関係者の意見等		・保護者評価よりもやや低い項目があるが、適切である。			
生徒 指 導	家庭・地域社会・関係機関との連携が図られている。	2.98	・日常の遅刻指導の充実を図る。 ・自転車の乗車マナー向上のため警察等関係機関との連携の充実を図る。	3.12	3.75
	基本的な生活習慣や頭髪服装の指導が、全教職員の協力体制の下で行われている。	2.98		3.09	3.75
	交通安全指導が適切に行われている。	3.18		3.10	3.75
学校関係者の意見等		・保護者評価とほぼ同じで適切である。通学時の様子から、指導が徹底されているようです。			
進路 指 導	進路選択のためのガイダンスが効果的に機能している。	2.89	・3年間を見通したガイダンス計画を作成し、系統的・継続的な指導の充実を図る。	3.06	3.25
	講習や模擬試験の指導など、進路実現に向けた援助活動が積極的に行われている。	3.15		3.20	3.50
	「総合的な学習の時間」を通して、進路実現に向けた支援をしている。	3.00		3.27	3.50
学校関係者の意見等		・保護者評価よりも低い評価であるが、適切である。			
健康 ・ 安 全 指 導	日常的に健康把握を行うなど、生徒の健康面に配慮した適切な指導が行われている。	3.24	・教員研修の実施・充実を努めるとともにスクールカウンセラーの有効活用に努める。	3.20	3.75
	教育相談等を通して生徒の抱える悩み等に適切に対処している。	3.15		3.25	3.50
	健康な心と身体を育むための指導体制及び施設・設備が整っている。	3.02		3.22	3.50
学校関係者の意見等		・保護者評価とほぼ同じで適切である。			
特別 活 動	生徒会行事の内容・実施時数および事前指導・事後の評価等が適切になされている。	3.12	・生徒会執行部を中心に、各委員会でも活発な論議をさせ、生徒の主体性を養うことにより、各種行事の活性化を図る。	3.24	4.00
	生徒会行事、部活動等に全教職員の協力が得られ活性化されている。	2.98		3.26	3.50
	生徒会行事、部活動での安全への配慮及び保護者との協力体制が適切にとられている。	3.09		3.20	4.00
学校関係者の意見等		・保護者評価とほぼ同じで適切である。			
地域 と の 連 携	教育方針や教育活動などについて、保護者や地域に各種通信やホームページ等を通して積極的に情報の提供や発信を行い、開かれた学校づくりに努めている。	3.11	・PTA各種行事、年次保護者集会、三者懇談会等を通し、広く意見を聴取し学校運営に役立てる。	3.20	3.25
	保護者や地域からの意見を積極的に聴取し、学校改善に役立てている。	2.83		3.10	3.25
	PTA活動等を通して、学校と家庭との連携が図られている。	3.05		3.07	3.25
学校関係者の意見等		・保護者評価とほぼ同じで適切である。自己評価で2点台の項目は今後の努力目標として下さい。 ・義務教育ではないのでPとの連携は大事ではあるが、学校運営上ぶれないことが大切だと思います。			